

第64回東京都高等学校テニス選手権大会開始にあたって

本大会は、セルフジャッジで行います。(上位ラウンドで生徒補助員による SCU が入ることがあります。) プログラムに記載されているセルフジャッジ5原則を順守するようにしてください。

顧問の先生・代表者の生徒は必ず以下の確認を行って下さい。

1 ボール・プログラム配布時の配送物一覧

1) 各校郵送物

- ① ボール (ポイント数×1缶)
- ② プログラム (参加実数+顧問分【男女別】)
- ③ 会場提供校 (ボール2缶、プログラム1冊)

2) ホームページよりダウンロード

- ① 日程表 (パスワードは顧問の先生にメールにてお知らせします。)
- ② 「大会の開始にあたって」の本プリント

【確認してください】

- ① **ボール・プログラムの配送物に、過不足がないか確認して下さい。**
- ② プログラムを見て、各校の単・複の参加選手名を確認して下さい。
- ③ 日程表を見て、自分のドロー番号を確かめ 試合の日時・会場を確認して下さい。
- ④ 試合前日に日程に変更がないか、東京都高体連テニス専門部ホームページで確認して下さい。

2 大会方式について

予選から本選3回戦まで	1セットマッチ (6ゲームオール後、7ポイント先取タイブレーク)
本選4回戦から準決勝まで	8ゲームズプロセットマッチ (8ゲームオール後、7ポイント先取タイブレーク)
決勝	3セットマッチ(最終セットは10ポイントマッチタイブレーク方式)

※相手より2ポイント以上の差をつけて先に**10ポイント**取ったプレイヤーが勝者となる方式 のこと

3 注意事項について

顧問の先生は、選手にプログラムの注意事項をしっかりと読ませて試合に参加させて下さい。

特に、所属校発行の選手本人の生徒証または仮生徒証・携帯電話・応援・表示物等のことで、以下のことを注意して下さい。

○大会会場で出席を届けるときに、以下のものが必要となります。

・所属校発行の選手本人の生徒証または仮生徒証 (様式はテニス専門部 HP のもの)

(ダブルスは2人共に提示)

所属校発行の生徒証・仮生徒証 (免許証、保険証等、その他の証明書は不可) の提示がない場合、試合に参加できません。

顧問の先生が引率していても、提示がない場合、失格となります。

- 電源を切らない移動式通信機器のコート内持ち込みは禁止になっています。試合中（ウォームアップも含む）、移動式通信機器を選手が触ったり、機器が作動した場合、外部からアドバイスを受けていると判断します。
警告のあと繰り返した場合はその選手は失格となります。
- 選手は試合中にアドバイスを受けることは禁止になっています。
試合中、引率の人と話さないように、又、引率の人は試合中に選手に話しかけないように指導して下さい。警告のあと繰り返した場合はその選手は失格となります。
- ウェアの表示物の大きさは、高体連HPの記載を参照して、良く確認して下さい。
表示物を隠すために、着衣類を裏返して着用したり、違反部分にガムテープ等を貼ったりすることは禁止となっています。また、必ずテニスシューズを履いて出場して下さい。

4 試合会場・時間・交通機関

選手の皆さんは以下の内容を確認して下さい。

- 1) 試合会場について、各校ホームページの地図等で確認して下さい。
- 2) 各会場の注意事項は、テニス専門部 HP に掲載されていますので事前に確認して下さい。
会場校へ実施に関する電話による問い合わせは一切しないで下さい。
- 3) 午前8時以前には会場校の敷地内に入らないで下さい。
- 4) 持ち込んだゴミは各自で持ち帰って下さい
- 5) 問い合わせは顧問を通して行って下さい。

東京都高等学校体育連盟テニス専門部
大会委員長・大会レフェリー